

＊ 感染症情報 ＊

未満児クラスでヘルパンギーナに感染したお子さんがいます。
体調を崩されて病院受診の際は、医療機関にもその旨をお伝えください。

<ヘルパンギーナ>

- 1) 病原体・・・主にコクサッキーウイルスだが、原因ウイルスが複数あるため何度も感染する可能性がある。
- 2) 潜伏期間・・・3～6日
- 3) 症状・・・発症初期には、高熱、のどの痛みなどの症状がみられる。また、咽頭に赤い粘膜しんがみられ、次に水泡（水ぶくれ）となり、間もなく、潰瘍となる。高熱は数日続く。熱性けいれんを合併することもある。無菌性髄膜炎を合併することがあり、発熱、頭痛、嘔吐を認める。まれに脳炎を合併することもある。
多くの場合は、2～4日の自然経過で解熱して治る。
- 5) 感染経路・・・飛沫感染、接触感染および経口感染である。飛沫や経口からは1～2週間、便からは数週～数か月間ウイルスが排出される。
- 6) 予防・治療・・・ワクチンは開発されていない。飛沫、経口、接触感染により感染するため、手洗いの励行など一般的な予防法が大切。
有効な治療はなく、対症療法で自然治癒することが多い。
- 7) 登園の目安・・・発熱や口腔内の水泡、潰瘍の影響がなく食事がとれ、全身状態が安定してから登園を再開するようお願いします。
登園時には保護者記入の登園許可証を持参ください。